

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和2年12月3日(2020.12.3)

【公表番号】特表2020-500330(P2020-500330A)

【公表日】令和2年1月9日(2020.1.9)

【年通号数】公開・登録公報2020-001

【出願番号】特願2019-522753(P2019-522753)

【国際特許分類】

G 10 L	15/28	(2013.01)
G 10 L	15/22	(2006.01)
G 10 L	15/10	(2006.01)
G 10 L	15/00	(2013.01)
G 06 F	3/16	(2006.01)

【F I】

G 10 L	15/28	2 3 0 J
G 10 L	15/22	3 0 0 Z
G 10 L	15/10	2 0 0 W
G 10 L	15/00	2 0 0 A
G 06 F	3/16	6 2 0
G 06 F	3/16	6 3 0
G 06 F	3/16	6 5 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月21日(2020.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1つ以上のマイクロフォン、スピーカ、1つ以上のプロセッサ、及び前記1つ以上のプロセッサによる実行のための1つ以上のプログラムを格納するメモリを含む第1の電子装置であって、共通のネットワークサービスに通信可能に結合される、コネクテッド電子装置のローカルグループのメンバである第1の電子装置が、

第1の操作の要求を含む第1の音声命令を受信することと、

コネクテッド電子装置の前記ローカルグループの中から前記第1の操作のための第1のターゲット装置を決定することと、

前記第1のターゲット装置に関してフォーカスセッションを確立することと、

前記共通のネットワークサービスの操作を介して、前記第1のターゲット装置によって前記第1の操作が実行されるようにすることと、

第2の操作の要求を含む第2の音声命令を受信することと、

前記第2の音声命令が第2のターゲット装置の明示的な指定を含まないと決定することと、

前記第2の操作が前記第1のターゲット装置によって実行することができると決定することと、

前記第2の音声命令が1つ以上のフォーカスセッション維持基準を満たすかどうかを判定することと、

前記第2の音声命令が前記フォーカスセッション維持基準を満たすという決定に従つ

て、前記第2の操作を前記共通のネットワークサービスの操作を介して前記第1のターゲット装置によって実行させることとを備える、方法。

【請求項2】

コネクテッド電子装置の前記ローカルグループの中から前記第1の操作のための第1のターゲット装置を決定することは、

前記第1の音声命令から前記第1のターゲット装置の明示的な指定を取得することとを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

コネクテッド電子装置の前記ローカルグループの中から前記第1の操作のための第1のターゲット装置を決定することは、

前記第1の音声命令が前記第1のターゲット装置の明示的な指定を含まないと決定することと、

コネクテッド電子装置の前記ローカルグループの中の第2の電子装置により前記第1の操作を実行することができると決定することと、

前記第2の電子装置を前記第1のターゲット装置として選択することとを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記第2の音声命令は前記フォーカスセッション維持基準を満たすという前記決定に従って、前記第1のターゲット装置に関して前記フォーカスセッションを延長することとさらに備える、請求項1から3のいずれか1項に記載の方法。

【請求項5】

前記第1のターゲット装置に関して前記フォーカスセッションを確立することは、

前記第1の音声命令のタイムスタンプを記憶することと、

前記第1のターゲット装置の識別子を記憶することとを備える、請求項1から4のいずれか1項に記載の方法。

【請求項6】

前記フォーカスセッション維持基準は、前記第1の音声命令の受信に対して第1の所定の時間間隔内に、又は前記第1の音声命令の受信に対して第2の所定の時間間隔で、前記第2の音声命令が前記第1の電子装置によって受信されるという基準を含み、前記第2の所定の時間間隔は前記第1の所定の時間間隔の後に続き、

前記第2の音声命令が前記1つ以上のフォーカスセッション維持基準を満たすかどうかを決定することは、前記第2の音声命令が前記第1の所定の時間間隔又は前記第2の所定の時間間隔のいずれか以内で受信されるかどうかを決定することとを備える、請求項1から5のいずれか1項に記載の方法。

【請求項7】

前記第2の音声命令が前記第1の所定の時間間隔内に受信されたという決定に従って、前記第2の音声命令のためのターゲット装置として前記第1のターゲット装置を選択することとさらに備える、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

前記第2の音声命令が前記第2の所定の時間間隔内に受信されたという決定に従って、前記第2の音声命令のためのターゲット装置として前記第1のターゲット装置を確認する要求を出力することと、

確認する要求に応答する前記第1のターゲット装置の肯定的な確認に従って、前記第1のターゲット装置を前記第2の音声命令のためにターゲット装置として選択することとを備える、請求項6に記載の方法。

【請求項9】

第3の操作の要求と、コネクテッド電子装置の前記ローカルグループの中での第3のターゲット装置の明示的な指定とを含む、第3の音声命令を受信することと、

前記第1のターゲット装置に関してフォーカスセッションを終了することと、

前記第3のターゲット装置に関してフォーカスセッションを確立することと、

前記共通のネットワークサービスの操作を介して、前記第3のターゲット装置によって前記第3の操作を実行させることとをさらに備える、請求項1から8のいずれか1項に記載の方法。

【請求項10】

第1のターゲット装置は前記第1の電子装置であり、

前記方法は、

第4の操作の要求と、コネクテッド電子装置の前記ローカルグループの中での第4のターゲット装置の明示的な指定とを含む、第4の音声命令を受信することをさらに備え、前記第4のターゲット装置は、コネクテッド電子装置の前記ローカルグループの第3の電子装置メンバであり、前記第3の電子装置は前記第1の電子装置とは異なり、前記方法は、さらに、

前記第1のターゲット装置に関して前記フォーカスセッションを維持することと、

前記共通のネットワークサービスの操作を介して、前記第4のターゲット装置によって前記第4の操作を実行させることとを備える、請求項1から9のいずれか1項に記載の方法。

【請求項11】

前記第2の音声命令は、前記第4の操作を前記第4のターゲット装置によって実行させた後に受信され、

前記第1の操作はメディア再生動作であり、

前記第2の操作はメディア停止操作であり、

前記方法は、

第5の操作の要求と、及びコネクテッド電子装置の前記ローカルグループの中での第5のターゲット装置の明示的な指定とを含む、第5の音声命令を受信することをさらに備え、前記第5のターゲット装置は前記第3の電子装置であり、前記方法は、

前記第1のターゲット装置に関して前記フォーカスセッションを終了することと、

前記第5のターゲット装置に関してフォーカスセッションを確立することと、

前記共通のネットワークサービスの操作を介して、前記第5のターゲット装置によって前記第5の操作を実行させることとをさらに備える、請求項10に記載の方法。

【請求項12】

所定の操作終了要求を含む第5の音声命令を受信することと、

前記第5の音声命令を受信することに従って、

前記第1のターゲット装置によって前記第1の操作を実行させることを止めることと、

前記第1のターゲット装置に関して前記フォーカスセッションを終了することとをさらに備える、請求項1から11のいずれか1項に記載の方法。

【請求項13】

前記第1の操作はメディア再生操作であり、

前記第2の操作は、メディア停止操作、メディア巻き戻し操作、メディア早送り操作、音量を上げる操作、及び音量を下げる操作のうちの1つである、請求項1から12のいずれか1項に記載の方法。

【請求項14】

前記第1の操作は、複数の装置状態のうちの第1の状態への装置状態変化操作であり、

前記第2の操作は、複数の装置状態のうちの第2の状態への装置状態変更操作である、請求項1から13のいずれか1項に記載の方法。

【請求項15】

前記第1の操作は、マグニチュードスケールにおいて、第1の方向へのマグニチュード変更操作であり、

前記第2の操作は、前記マグニチュードスケールにおいて、前記第1の方向と反対の第2の方向へのマグニチュード変更操作である、請求項1から14のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 16】

前記第1の電子装置は1つ以上のLEDのアレイを備え、

前記方法は、

LEDの前記アレイにおける前記LEDの1つ以上を照明することによって前記フォーカスセッションの状態を示すことをさらに備える、請求項1から15のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 17】

1つ以上のマイクロフォン、

スピーカ、

1つ以上のプロセッサ、及び

前記1つ以上のプロセッサによって実行される1つ以上のプログラムを格納するメモリを備え、前記1つ以上のプログラムは請求項1から16のいずれか1項に記載の方法を実行するための指示を備える、電子装置。

【請求項 18】

1つ以上のマイクロフォン、スピーカ、及び1つ以上のプロセッサを備える電子装置によって実行されると、前記電子装置に請求項1から16のいずれか1項に記載の方法を実行させる命令を備える、コンピュータプログラム。